

# 令和2年度事業報告

## ● 基本方針

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国、北海道における緊急事態宣言や感染拡大防止策を取るため、一部事業の縮小、延期や見送りを余儀なくされる事態となった。

2年目となるアイヌ施策推進法に基づく交付金事業については、新型コロナの影響を受け計画が縮小、中止等があったが、道内30自治体、道外1自治体において展開された。

昨年7月「民族共生象徴空間ウポポイ」が一般公開されたことを受け、協会事業とも連携し、普及啓発を行った。

法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めつつ、アイヌ民族自らの活動展開と国民理解により得られる協賛により法人運営の健全強化に努めた。

本年3月に放送された日本テレビ情報番組「スッキリ」におけるアイヌ民族に対する不適切発言については、謝罪と番組制作に係る経緯を含めた原因の究明、再発防止策を求めた。

1. アイヌ施策推進法の法制理解と利活用
2. 生活向上施策及び文化振興施策の見直しと充実
3. 新法制定を踏まえた組織強化への取組
4. 新法制度の全国展開を見据えた道外アイヌの認定等

## < 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

### 1 組織・活動強化の推進

#### 1 要請活動等の展開

アイヌ施策推進法の施行後も先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していくため、国政や関係行政機関、マスコミなどに対し働きかけを行った。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

#### (1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

○ウポポイ開設のお礼言上 令和2年7月1日、2日

○政党等

- ・鈴木宗男衆議院議員 令和2年 9月12日（札幌）
- ・鈴木貴子衆議院議員 令和2年 9月12日（札幌）
- ・船橋利実衆議院議員 令和2年 9月28日（札幌）
- ・横山信一 参議院議員 令和2年10月13日（札幌）
- ・伊達忠一 元参議院議員 令和2年10月25日（札幌）

○関係省庁へのお礼言上等

- ・菅 義偉 内閣総理大臣 令和2年10月27日（東京）
- ・加藤勝信 内閣官房長官 令和2年10月27日（東京）
- ・ “ ” 令和3年 3月16日（東京）
- ・文化庁次長 令和2年10月20日（札幌）

○内閣官房アイヌ総合政策室との打合せ

- ・岡本直行室長 他 令和2年11月27日（リモート会議）
- ・ “ ” 令和3年 1月14日（リモート会議）
- ・ “ ” 令和3年 2月 8日（リモート会議）
- ・ “ ” 令和3年 2月16日（リモート会議）

○北海道へのお礼言上等

- ・鈴木直道 北海道知事 令和2年9月7日（札幌）
- ・ “ ” 令和3年3月15日（札幌）

(3) 北海道議会への対応

令和2年11月24日開催の北海道議会環境生活委員会において、道見泰憲北海道議会議員が発した「甘やかす」の言葉は、多文化共生社会を目指す契機となったこれまでの取組に水を差すもので、所属会派会長宛に今後このようなことがなされぬよう、史実と事実に基づいた歴史認識を求めました。

- ・提出月日 令和2年12月22日
- ・宛 先 自由民主党・道民会議北海道議会会長 佐々木俊雄

(4) 民族共生象徴空間の施策推進に対する働きかけ

①民族共生象徴空間ウポポイの認知度の向上

民族共生象徴空間ウポポイの開設に向け、国や道、市町村、地区協会と連携協力し、ウポポイの啓発パンフレット等広報資材を、公共施設や商業施設の利用者に配付したほか、公共施設等に配架、留置きをお願いし、ウポポイに対する国民理解、認知度の向上に努めた。

(5) 遺骨・慰霊について

国立の慰霊施設におけるアイヌ遺骨の慰霊については、民族共生の象徴や歴史的意義を持たせ追悼を通して新しい人権文化を発信する場として捉え、昨年10月に鎮魂式並びに慰霊式（カムイノミ・イチャルパ）を実施した。

地域返還については、国の方針に沿ってより丁寧に進められるよう引き続き働きかけた。

①アイヌ遺骨及び副葬品（12大学保管分）の慰霊施設集約後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ  
・令和2年10月14日 白老町慰霊施設  
慰霊施設にアイヌ遺骨が集約された後の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパを実施し、大学関係者やアイヌ協会役員、地区協会長のほか、道内外から参列をいただいた。

②北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）  
令和2年度の実施を予定されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施が見送られた。

③研究倫理検討委員会準備会  
アイヌ民族に関する研究倫理指針「研究倫理委員会」準備委員会

- ・日時 令和3年3月4日
- ・場所 リモート会議（北海道大学アイヌ先住民研究センター会議室）

#### （6）農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

また、北海道の「アイヌ農林漁業対策基本方針」策定に当たり、農林漁業対策事業費の拡充並びに地域や業態などの事情に沿った整備事業・推進事業の弾力的な運用を認めていただくよう意見書を提出した。

#### （7）住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、継続的な予算措置を求めた。

#### （8）先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② 「北海道人権施策推進基本方針」の改定に当たり、当協会の意見聴取を求められ、加藤常務理事が「人権施策推進懇談会」に出席し意見を述べた。  
・令和2年8月26日（水） 北農健保会館

③ アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめた。

アイヌ協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、歴史学研究会、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携を進めた。

④ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙、住友林業が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

また、緑の循環認証会議（SGEC/PEFCジャパン）がSGECのアイヌ民族に対するFPIC（自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意）実施の手引き作成のため、その記載内容について、関係機関からの情報収集、調整をはかる一環として打合せを行った。

(9) 伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル事業の推進には、関連地域との情報共有（ネットワーク体制）が重要であることから、イオルネットワーク会議の継続を求めた。

(10) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(11) ホームページの充実

当法人のホームページをリニューアルし、アイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。

また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(12) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(13) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

総合的なアイヌ政策を推進していくため、関東域の関係団体・個人と連絡を密に情報を共有を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携した。

(14) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

(15) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。

(16) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

教科書等の記述について情報収集につとめた。

(17) 教育相談員の配置等

既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。

(18) 図書・刊行物等の過誤対応

図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、アイヌ文化・ガイド教本の有効活用、(公社)北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化分科会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

## 2 組織の強化

### (1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事を教訓に二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、地区協会事業等への参加については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、協会役員が出向いた。

会員研修会については実施を見送った。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

※各地区事業は、コロナ対策が講じられた。

期	日	行 事 名	出席役・職員
令和2年	4月 5日(日)	上士幌アイヌ協会総会	
	4月12日(日)	新冠アイヌ協会総会	
	4月12日(火)	弟子屈アイヌ協会総会	
	4月18日(土)	浦幌アイヌ協会総会	
	4月19日(日)	三石アイヌ協会総会	
	4月22日(水)	浦河アイヌ協会総会	書面表決
	4月22日(水)	釧路アイヌ協会総会	
	4月24日(金)	阿寒アイヌ協会総会	書面表決
	4月26日(日)	平取アイヌ協会総会	
	4月26日(日)	苫小牧アイヌ協会総会	
	4月26日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	書面表決
	4月28日(火)	白老アイヌ協会総会	
	4月	様似アイヌ協会総会	書面表決
	4月	えりもアイヌ協会総会	書面表決
	4月	厚真アイヌ協会総会	書面表決
	5月16日(土)	帯広アイヌ協会総会	書面表決
	5月17日(日)	伊達アイヌ協会総会	書面表決
	5月	登別アイヌ協会総会	書面表決
	5月	室蘭アイヌ協会総会	書面表決
	6月 7日(日)	新ひだか 第32回イチャルパ	
	6月	札幌アイヌ協会総会	書面表決
	6月	日高地区アイヌ協会連合会総会	書面表決
	7月 5日(日)	弟子屈 第4回パリモモ祭り	
	7月25日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	

期 日	行 事 名	出席役・職員
8月22日(土)	浦幌 カムイノミ・イチャルパ	
8月23日(日)	釧路 春採コタン祭り	
9月 6日(日)	帯広 令和2年度チョマトー慰霊祭	
9月13日(日)	十勝 第3回十勝川アシリチェップノミ	理事長
9月18日(金)	恵庭アイヌ協会総会	
9月18日(金)	新冠 第38回イチャルパ	理事長
9月22日(火・祝)	第74回シャクシャイン法要祭	理事長、副理事長、常務理事
9月26日(土)	釧路 第39回カムイチェップ祭	
10月 4日(日)	第25回屈斜路コタンイチャルパ	理事長
10月 4日(日)	三石 第27回イチャルパ	
10月12日(月)	釧路町 吉良平次郎慰霊祭	
令和3年1月10日(日)	千歳 アシッパノミ	
1月12日(火)	日高アイヌ協会総会	書面表決
1月27日(水)	長万部アイヌ協会総会	
2月 1日(月)	八雲アイヌ協会総会	書面表決

(2) アイヌ施策推進法によるアイヌ施策の推進

アイヌ施策推進法に基づく施策の推進に国民理解を深めていただくため、国民を代表する国会議員にご理解とご協力をお願いした。

(3) 国際文化交流事業の推進

青少年の海外研修事業が平成24年度からアイヌ文化財団の直轄事業として創設されたことから、この事業への協力、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成事業の取組みを支援した。

(4) 会員研修事業

「会員研修会」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先と考え、開催を中止した。

(5) 地区別懇談会の開催

「アイヌ施策推進法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各団体が抱えている課題や実情に応じた地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
日 高	令和2年11月15日(日)	日高町富川	1. アイヌ施策の推進状況と今後について 2. 日高アイヌ協会事業の推進について 3. 意見交換

- (6) 青年女性対策の推進  
「青年・女性の集い」  
新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。
- (7) 各種相談員の合同研修会  
新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。
- (8) 連帯意識の高揚  
各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。
- (9) 生活館活動の充実  
生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。
- (10) 市町村への働きかけ  
アイヌ施策推進法に基づく新しい交付金事業について情報共有と連携を図った。  
また、市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。
- 交付金活用等に関して市町村長と面談を行った。  
・令和2年8月3日、幕別町長との面談 正副理事長、常務理事、幕別アイヌ協会長  
・令和2年10月8日、新冠町長との面談 常務理事、新冠アイヌ協会長  
・令和2年10月30日、えりも町長との面談 常務理事、岩間理事（えりも協会長）
- (11) 財政基盤の強化  
会費収入は減少傾向（本会員の減）にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

### 3 会務の運営

- (1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催  
総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。  
<理事会>

回	数	開 催	日	場 所
第 1	回	令和2年	4月30日（水）	苫 小 牧 市
第 2	回	令和2年	9月30日（水）	札 幌 市
第 3	回	令和3年	1月29日	※新型コロナウイルス感染症関連対応のため、 書面表決
第 4	回	令和3年	3月29日	※新型コロナウイルス感染症関連対応のため、 書面表決

### <役員研修・連携会議>

回	数	開	催	日	場	所
第 1	回	令和 2 年	4 月 3 0 日	(水)	苫 小 牧	市
第 2	回	令和 2 年	9 月 2 9 日	(火)	札 幌	市

#### (2) 監事監査の実施

当会の財務規程では年 2 回以上行うこととされており、例年 1 2 月と 4 月に実施しているが、昨年 1 2 月は新型コロナウイルス感染症拡大が続き、北海道の集中対策期間が 3 月まで延長されたことから、理事会の承認を受けて年 1 回の監査とした。

令和 2 年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・ 監事会計監査 : 令和 3 年 4 月 24 日 (土)
- ・ 公認会計士監査 : 令和 3 年 4 月 24 日 (土)

## 2 事業の推進

#### (1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

##### ① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年 2 回 (B5 版 p. 8) 各 4, 500 部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

##### ② ホームページによる情報発信

当協会ホームページを改新し、先住民族アイヌの情報 (組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等) を発信した。

##### ③ 「2020 年 国際先住民族の日記念事業」

新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から、参集者の皆様の健康と安全を最優先とし、開催を中止した。

##### ④ アイヌ文化発信プログラム事業

2021 年に延期された「東京五輪」でアイヌ文化を世界に向けて発信することを目的に道内各保存会及び関東 4 団体、道内外の文化伝承活動を行っている任意団体から構成する「アイヌ文化発信会議」の決定のもと、演劇構成の再検討、サブリーダー及びボーカルチームの養成、オンライン公演による周知啓発活動を行った。

また、養成されたサブリーダーを地域に派遣し、地域連携指導として新たな演劇構成案に基づく舞踊指導について、見本映像 DVD を制作配布し指導を行った。

○文化発信会議の開催

日 時		
第1回 令和2年10月5日	かでの2・7	・令和元年度及び2年度の取組の経過報告、今後の取組の進め方
第2回 令和3年3月9日	苫小牧市民会館	・取組の経過報告、演出構成、スケジュール、今後の取組の進め方

○チームリーダー会議

日 時		
第1回 令和2年6月28日	かでの2・7	状況報告、屋外ステージを想定した新たな演示構成案について、舞踊やフォーメーションの確認、サブリーダー会議の進め方

○サブリーダー会議（練習会）等

日 時	場 所	内 容
第1回 令和2年7月11日 ～12日	中島体育センター かでの2・7	オリンピックにおけるアイヌ文化発信について状況報告、屋外ステージを想定した新たな演示の構成案について、舞踊やフォーメーションの確認、アイヌの歌及び舞踊の実技、コーチング、指導に関する指導、ロールプレイ等
第2回 令和2年10月17日 ～18日	しらおい経済センター	本番公演プロトタイプ演目の実技練習、コーチング等
第3回 令和2年11月14日 ～15日	しらおい経済センター	本番公演プロトタイプ演目の実技練習、コーチング等
第4回 令和2年12月12日	しらおい経済センター	地域連携指導に向けた舞踊について地域リーダーと合同練習

○ボーカルチームの養成

日 時	場 所	内 容
第1回 令和2年7月12日	しらおい経済センター	アイヌの歌の座学、聴き取り、実技指導等
第2回 令和2年10月18日	しらおい経済センター	本番公演プロトタイプ演目のウポポ練習、歌唱指導
第3回 令和3年1月10日 ～11日	社台生活館	地域連携指導に向けた指導内容確認、振付見本動画撮影、オンライン公演の振り返り、コーチング講座
第4回 令和3年2月7日	しらおい経済センター	ウポポヤンリムセヤンのウポポ練習、歌唱指導

○オンライン公演収録

日 時	場 所	内 容
令和2年12月13日	苫小牧市文化会館	本番公演プロトタイプの収録、後日編集後の映像公開 YouTubeでの映像視聴、ウポポイベントランスでの映像紹介、北海道庁の会議等での視聴を調整 ※11/28ウポポイでの収録を予定していたがコロナ禍により使用不可となり、急遽日程を変更し苫小牧市文化会館にて開催

○地域リーダー説明会、合同練習

日 時	場 所	内 容
令和2年12月12日	しらおい経済センター	経過報告、地域リーダーの役割の説明、舞踊の合同練習
令和3年3月9日	苫小牧市民会館	経過報告、地域リーダーの役割の説明、演出構成、スケジュール、今後の取組の進め方

○地域連携指導

日 時	場 所	内 容
令和2年12月19日	苫小牧市川沿公園体育館	演示構成案に基づく舞踊について連携指導
令和2年12月27日	札幌市中島体育センター	
令和3年1月23日	二風谷生活館	
令和3年1月24日	浦河町総合文化会館	
令和3年1月30日	帯広市生活館	
令和3年1月31日	阿寒湖アイヌシアターイコロ	
令和3年2月13日	苫小牧市川沿公園体育館	
令和3年2月14日	中島体育センター	
令和3年2月27日	帯広市生活館	
令和3年2月28日	阿寒湖アイヌシアターイコロ	
令和3年3月6日	二風谷生活館	
令和3年3月7日	三石町総合センターはまなす	
令和3年3月13日	旭川市市民生活館	

(2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

- ①福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）
  - ・貸付限度額10万円以内 23件（2,300,000円）の活用があった。
- ②環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）

○浴室整備資金  
・貸付限度額20万円以内 0件 (0円)

○墓碑整備資金  
・貸付限度額30万円以内 0件 (0円)  
の活用があった。

③入学一時資金 (大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内)

○大学入学一時資金  
・貸付限度額30万円以内 1件 (260,000円) の貸付を行った。

○私立高校一時資金  
・貸付限度額20万円以内 0件 (0円)

○専修学校一時資金  
・貸付限度額30万円以内 0件 (0円)

(3) 職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

・就職支度資金23,760円 0件  
・技術習得資金50,000円以内 16件 (800,000円) の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。  
延べ356日間の活動で378件の相談を受理、83件の就職・求人に結びつけた。

令和2年度活動実績は次のとおり。

項目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		28	29	30	30	30	30	30	29	30	30	30	30	356
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	32	33	32	27	33	32	33	31	32	31	31	31	378
	有効求職者	23	24	26	21	23	24	21	22	22	23	21	24	274
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	6
	その他	9	9	6	6	10	8	10	8	10	7	8	7	98
	2) 事業所相談件数	3	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	17
	一般求人	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	5	4	5	7	5	5	5	5	5	5	5	6	62
	求人取次	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
4. 職場適応指導件数		3	4	4	5	4	1	2	2	3	3	3	2	36
5. 安定所に取次いだ求人情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 就職に至った件数		9	11	5	11	6	6	11	6	4	5	4	5	83

③アイヌ中小企業経営改善指導事業

アイヌ事業者の事業活動の促進と経営安定化を図るため、個別指導を実施した。

④アイヌ施策広域相談事業

アイヌの人たちからの教育や文化の保存・伝承、生活と雇用の安定といった相談等に応じるため、広域相談を配置し、アイヌ施策全般にわたる相談事業を実施した。

⑤アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和2年 10月 9日(金) ～ 12日(月)	体験講師 貝澤竹子、長縄由加利 実演者 宮川正子、石井美香 山田祐治、吉田信男
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和2年 11月 6日(金) ～ 9日(月)	体験講師 宮川正子、長縄由加利 実演者 貝澤竹子、吉田信男 阿部紘美、荒木 繁
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和3年 2月12日(金) ～ 15日(月)	体験講師 阿部紘美、石井美香 実演者 宮川正子、荒木 繁 山田祐治、長縄由加利
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和3年 3月 5日(金) ～ 8日(月)	体験講師 貝澤竹子、宮川正子 実演者 荒木 繁、山田祐治 吉田信男
東京都	THE COVER NIPPON TOKYO	中止	新型コロナウイルス感染症に関する諸状況から

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修>

国立民族学博物館外来研究員  
参加希望がなく、本年度の実施を見送った。

<道内研修>

①道内調査研究

国立アイヌ民族博物館において、収蔵資料を熟覧調査した。

- ・ 研修期間：令和3年1月～3月（計6回）
- ・ 参加者：小美浪フミ（白老）
- ・ 報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

②道内技術研修

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・ 研修期間：令和3年1月～3月（計6回）
- ・ 講師：①技術指導（木彫） 優秀工芸師 貝澤 守  
②経営セミナー 中小企業診断士 佐々木伸
- ・ 参加者：居橋 朗（札幌）
- ・ 報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①アイヌ伝統工芸展開催事業

- ・期 間 令和3年2月6日（土）～10日（水）
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 12地区協会（31人）
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 36点 一般工芸品部門 49点 計85点
- ・審査委員 元道立近代美術館学芸部長 浅川 泰  
 北海道立総合研究機構工業試験場研究主幹 万城目 聡  
 （敬称略） 北海道大学アイヌ先住民研究センター准教授 山崎 幸治  
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 宮田 初枝  
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 （※1）	アットゥシ織 帯	苫小牧	矢崎 伸子	ショルダーバッ グ	平 取	川上ききょう
優秀賞 （※2）				ルウンペのスマ ートフォンケー ス	標 津	西山美紀子
優秀賞 （※3）	アットゥシアミフ	平 取	川上ききょう			
優秀賞 （※4）	チカラカラペ	平 取	貝澤美和子	タペストリー	札 幌	小川カヨ子
奨励賞	ルウンペ	白 老	吉國 幸子	トートバッグ	白 老	小美浪フミ
同	二風谷イタ	平 取	関根 真紀	コタンコロカムイ	白 老	山田 祐治
同	イタ	平 取	貝澤 太一	カムイノミ用 カバン	鶴 居	小川 絵里
同	パスイ	帯 広	廣川 昌嘉	菓子入れ付茶托	帯 広	廣川 昌嘉
同	チンヂリの マタンプシ	標 津	西山美紀子			

※1 最優秀賞（北海道知事）

※2 優秀賞（北海道議会議長）

※3 優秀賞（北海道教育委員会教育長）

※4 優秀賞（かでる賞）

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場(札幌/白老/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 4会場(札幌/むかわ/帯広/釧路)
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示  
令和3年2月20日（土）「釧路市交流プラザさいわい」にて実施

③松浦武四郎北海道命名150年記念・アイヌ民族文化祭2020 第33回

民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2020」を開催した。

◆開催日時：令和2年11月7日（土） 13:00～17:00

◆開催場所：民族共生象徴空間ウポポイ「体験交流ホール」「博物館交流室」

◆入場者数：250人

◆内 容：

来賓挨拶 白老町長 戸田 安彦

文化公演Ⅰ

紙芝居 武四郎物語

- ・紙芝居師 三橋とら

文化公演Ⅱ アイヌ古式舞踊

- ・白老民族芸能保存会
- ・平取アイヌ文化保存会
- ・帯広カムイトウウポポ保存会

講演Ⅰ

- ・講師 三浦 泰之（北海道博物館 学芸主幹）

「三つのキーワードでひもとく松浦武四郎の生涯と人物像」

講演Ⅱ

- ・講師 大島 直行（札幌医科大学客員教授 日本人類学会評議員）

「アイヌ文化と縄文文化の関係を考える」

フィナーレ ポロリムセ（輪踊り）

④アイヌ古式舞踊PR資料の作成

民族共生象徴空間ウポポイにおける古式舞踊の披露に先立ち、アイヌ古式舞踊のPRパンフレットを作成しました。（制作 アイヌ民族文化財団 監修 北海道アイヌ協会）

（内容）

- ・アイヌ古式舞踊とは
- ・地域に伝わるアイヌ古式舞踊
- ・アイヌ古式舞踊と伝承
- ・重要無形民俗文化財の指定とは
- ・指定保護団体 17保存会
- ・ユネスコ無形文化遺産登録とは

## (5) 諸民族との交流及び情報交換

### ①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：令和2年7月31日（金）13:00～15:00
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：70人

「札幌医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：令和2年10月7日（水）13:30～15:20
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：50人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：令和2年9月22日（火・祝）14:30～16:00
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・集客、参加人数：200人（8団体）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：令和3年2月6日（土）～9日（火）
- ・場 所：かでの2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 2人

## (6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・利用承認に関する業務→申込書の收受、承認書の交付
- ・災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・各種報告等 →事業報告等
- ・その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

令和2年度アイヌ総合センター学習事業実績

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施回数、定員を縮小した。

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会（中級）	10月22日、10月29日 11月5日、11月12日、 11月19日	宮田初枝	25人 (5人×5回)
合計			25人

○自主事業等の実施

（自主企画事業）

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。
- （広報活動等）
- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

（7）人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、2話の翻訳整理と原稿化。  
表記法等：（筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳）2編。
- ・民俗技術の調査

# 資料編

## アイヌ施策関連事業

令和2年度アイヌ施策関連事業  
 <修学奨励、教育事業関係>

1 高等学校等進学奨励事業【道（振興局）～対象者】

区 分	高校・大学別	人 数	上 限 額	
入学支度金	高 校	国公立	66	24,200円
	(給付)	私 立	20	54,760円
	大 学 (貸付)		24	38,500円
修学資金	高 校	国公立	191	月) 23,000円
	(給付)	私 立	48	月) 43,000円
	大 学	国公立	186	月) 51,000円
	(貸付)	私 立	48	月) 82,000円

2 専修学校等進学奨励費補助事業【道（振興局）～対象者】

区 分	人 数	上 限 額
入学支度金	22	24,200円
修学資金	47	(月) 23,300円

3 高等学校通学費補助事業【道（振興局）～対象者】

補助対象高等学校の通学に要する経費  
 49人に助成された。(限度額7,500円)

4 教育相談員の配置

北海道費で1名（竹内 渉）、札幌市単費で1名（光野智子）  
 帯広市単費で1名（吉根加奈）が配置され教育相談業務が行なわれた。

<地方改善事業関係>

(1) 施設整備事業の実績

(単位：円)

No.	市町村	地 区	種 別	規模等	事業費 A	補助金額 B	うち国庫 負担相当額 (B×2/3) C	うち道費 負担相当額 (B-C) D
1	実績 なし							

## (2) 生活館運営費・生活館活動推進事業の実績

(生活館運営費補助金一覧) No.1

(単位:円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
千歳市	1	運営費	5,346,602	2,373,000	1,582,000	791,000
		活動	310,271	132,000	88,000	44,000
		小計	5,656,873	2,505,000	1,670,000	835,000
八雲町	1	運営費	2,661,304	1,870,000	1,246,000	624,000
		小計	2,661,304	1,870,000	1,246,000	624,000
室蘭市	1	運営費	3,204,711	2,200,000	1,466,000	734,000
		小計	3,204,711	2,200,000	1,466,000	734,000
苫小牧市	1	運営費	7,206,978	2,373,000	1,582,000	791,000
		小計	7,206,978	2,373,000	1,582,000	791,000
伊達市	1	運営費	3,395,311	2,373,000	1,582,000	791,000
		活動	20,862	15,000	10,000	5,000
		小計	3,416,173	2,388,000	1,592,000	796,000
豊浦町	1	運営費	1,885,504	681,000	454,000	227,000
		小計	1,885,504	681,000	454,000	227,000
白老町	8	運営費	13,093,429	7,140,000	4,760,000	2,380,000
		小計	13,093,429	7,140,000	4,760,000	2,380,000
洞爺湖町	1	運営費	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0
むかわ町	11	運営費	10,764,900	7,036,000	4,690,000	2,346,000
		活動	174,102	130,000	86,000	44,000
		小計	10,939,002	7,166,000	4,776,000	2,390,000
日高町	19	運営費	17,967,793	12,939,000	8,626,000	4,313,000
		小計	17,967,793	12,939,000	8,626,000	4,313,000
平取町	12	運営費	18,075,186	9,864,000	6,576,000	3,288,000
		小計	18,075,186	9,864,000	6,576,000	3,288,000
新冠町	9	運営費	7,280,019	4,596,000	3,064,000	1,532,000
		小計	7,280,019	4,596,000	3,064,000	1,532,000
浦河町	13	運営費	11,556,246	8,186,000	5,457,000	2,729,000
		活動	120,000	90,000	60,000	30,000
		小計	11,676,246	8,276,000	5,517,000	2,759,000
様似町	9	運営費	12,345,845	7,549,000	5,032,000	2,517,000
		小計	12,345,845	7,549,000	5,032,000	2,517,000

次頁に続く

## (生活館運営費補助金一覧) No.2

(単位:円)

市町村	館数	区分	総事業費 A	補助金額 B	うち国庫負担相当額 (B×2/3) C	うち道費負担相当額 (B-C) D
えりも町	6	運営費	5,568,081	3,774,000	2,516,000	1,258,000
		小計	5,568,081	3,774,000	2,516,000	1,258,000
新ひだか町	27	運営費	15,378,395	11,234,000	7,489,000	3,745,000
		小計	15,378,395	11,234,000	7,489,000	3,745,000
帯広市	1	運営費	10,345,057	2,373,000	1,582,000	791,000
		小計	10,345,057	2,373,000	1,582,000	791,000
幕別町	1	運営費	2,654,606	681,000	454,000	227,000
		小計	2,654,606	681,000	454,000	227,000
本別町	2	運営費	1,705,069	1,245,000	830,000	415,000
		小計	1,705,069	1,245,000	830,000	415,000
浦幌町	1	運営費	1,930,000	681,000	454,000	227,000
		小計	1,930,000	681,000	454,000	227,000
釧路市	6	運営費	9,471,221	5,778,000	3,852,000	1,926,000
		小計	9,471,221	5,778,000	3,852,000	1,926,000
厚岸町	1	運営費	255,856	136,000	90,000	46,000
		小計	255,856	136,000	90,000	46,000
弟子屈町	1	運営費	463,163	342,000	228,000	114,000
		小計	463,163	342,000	228,000	114,000
白糠町	1	運営費	6,130,444	2,373,000	1,582,000	791,000
		小計	6,130,444	2,373,000	1,582,000	791,000
標津町	4	運営費	3,618,087	2,692,000	1,794,000	898,000
		小計	3,618,087	2,692,000	1,794,000	898,000
合計	139	運営費	172,303,807	100,489,000	66,988,000	33,501,000
		活動	625,235	367,000	244,000	123,000
		合計	172,929,042	100,856,000	67,232,000	33,624,000

※ 補助割合は、国2/4、都道府県1/4（間接分3/4）、市町村1/4です。

※ 上記額は実績（見込み）額

市町村	館数	区分	総事業費 A	補助基本額 B	国庫負担相当額 (B×1/2) C	市費負担相当額 (A-C) D
札幌市	1	運営費	5,219,725	3,165,000	1,582,500	3,637,225
		活動	5,039,776	2,000,000	1,000,000	4,039,776
		小計	10,259,501	5,165,000	2,582,500	7,677,001
旭川市	2	運営費				

※ 札幌市、旭川市の実績は見込み額

※ 札幌市（指定都市）及び旭川市（中核都市）の補助割合は、1/2です。

※ 注：運営費＝生活館運営費　：　活動＝生活館活動推進事業費

(3) 生活相談員

生活相談員が30名配置され、生活相談業務が行なわれた。

市町村名	氏名	市町村名	氏名
札幌市	石井彩花 佐々木洋子	浦河町	堀悦子 八重樫志仁
千歳市	上野和広	様似町	古館牧子
室蘭市	相模香奈恵	えりも町	運上英昭 神保太輔
苫小牧市	阿部琴恵	旭川市	工藤 稔 野本和彦
登別市	山岸直美	帯広市	野尻真理子
伊達市	戸ノ崎郁美	芽室町	太田千代
白老町	小川康信 高野美和子	浦幌町	丹野るみか
むかわ町	原 明弘 芦谷明美	釧路市	松本里美
平取町	島野健二 泉 聖也 日川敏恵	白糠町	渋谷祐依知
新冠町	板屋越和弘	標津町	小林一志
新ひだか町 静内庁舎	今村夢萌	八雲町	須藤英敏

<農林漁業対策事業関係>

1 令和2年度アイヌ地区農林漁業対策事業実績

(単位：円)

市町村名	地区名	事業種目	事業主体	事業内容	事業費
豊浦町	豊浦・大岸	漁業経営近代化施設 ----- (推進事業)	いぶり噴火湾 漁業協同組合	ホタテ畜養施設 高酸素海水製造機 18台	44,352,000
新ひだか町	幌毛	農業経営近代化施設 ----- (推進事業)	株式会社 ファームホロ	温室 ビニールハウス70坪 5棟 動力防除機 1台	11,911,900
長万部町	静狩	漁業経営近代化施設 ----- (推進事業)	長万部漁業協 同組合	ホタテ貝自動耳吊機 12台	57,420,000
八雲町	内浦第1	漁業経営近代化施設 ----- (推進事業)	八雲町漁業協 同組合	ホタテ貝自動耳吊機 11台	52,635,000
4町4地区					166,318,900

<労働対策関係>

1 職業相談員活動実績

令和2年度15名が配置され、それぞれの地区において相談活動が行なわれた。

札幌職業安定所 江添雅子  
 札幌東職業安定所 横田房江  
 札幌北職業安定所 月山佳代  
 千歳職業安定所 川浪和美  
 函館職業安定所 福嶋たつ子（八雲出張所）  
 旭川職業安定所 中本美雪  
 室蘭職業安定所 上西静枝、小名幸子（伊達分室）  
 釧路職業安定所 伊賀秀子  
 帯広職業安定所 木村寿美子  
 苫小牧職業安定所 宮尾直子  
 浦河職業安定所 柴野仁子、大空ゆかり、上村一枝、工藤明美（静内分室）

2 就職資金貸付実績

北海道労働局主管で扱った常用労働者に対する就職資金の令和2年度の利用実績は次のとおり。

区分	単 身		扶養家族（有）		計	
	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)
小樽			1	150,000	1	150,000
室蘭	2	300,000			2	300,000
苫小牧	4	600,000	1	200,000	5	800,000
計	6	900,000	2	350,000	8	1,250,000

### 3 公共職業訓練手当支給実績

次の関係高等技術専門学院等でアイヌ子弟に訓練手当が支給された。

#### <施設内>

学 院 名	人数	内 訳
実績なし		
合 計		

#### <施設外>

学 院 名	人数	内 訳
札幌高等技術専門学院	2	パソコン基礎科 2名
ポリテクセンター北海道	1	建設荷役車両運転科 1名
合 計		

#### 4 機動職業訓練一覧

○就職支援委託訓練（アイヌの方を優先した訓練）

学院名	訓練科目	実施地	職安	実施期間		訓練状況			備考
				期間	月	定員	入校	修了	
釧路	IT基礎科	釧路市	釧路	R2.12-R3.2	2.5	15			応募者招集により中止

○離職者等再就職訓練（アイヌ・一般の離職者を対象とした短期間の訓練）

学院名	訓練分野	実施地	実施期間		訓練状況			備考
			期間	月	定員	入校	修了	
全高等技術専門学校	介護事務科 医療事務科 パソコン実践科 パソコン基礎科 介護パソコン科 経理税務科、他 全246コース	全道各地域	R2.4-R3.3	3~6	3,387	2,638	2,275	

#### <住宅対策関係>

##### 1 住宅改良資金貸付事業

令和2年度住宅改良資金貸付事業の実績

（単位：円）

市町村名	住宅新築資金		住宅改修資金		宅地取得資金		合計	
	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額
実績なし								
合計								

## 2 年度別建設実績

資金別 年度	新 築 件	改 修 件	宅 地 取 得 件	合 計 件
昭和48年度	2	12	—	14
49	9	25	0	34
50	40	25	0	65
51	81	27	1	109
52	112	41	15	168
53	130	48	18	196
54	136	47	33	216
55	129	39	37	205
56	112	46	28	186
57	109	39	44	192
58	94	34	32	160
59	80	38	28	146
60	67	36	21	124
61	70	34	23	127
62	67	46	26	139
63	62	35	16	113
平成元年度	58	30	27	115
2	62	30	21	113
3	52	32	18	102
4	43	32	24	99
5	45	25	18	88
6	20	22	22	64
7	30	24	15	69
8	34	25	8	67
9	15	18	12	45
10	22	16	13	51
11	22	20	11	53
12	17	9	10	36
13	13	17	3	33
14	10	14	8	32
15	5	10	6	21
16	5	10	3	18
17	2	5	1	8
18	8	7	2	17
19	3	7	2	12
20	5	6	3	14
21	6	6	5	17
22	4	2	3	9
23	3	1	1	5
24	0	3	0	3
25	0	3	1	4
26	1	2	0	3
27	0	1	0	1
28	0	1	0	1
29	0	1	0	1
30	0	0	0	0
令和元年度	0	1	0	1
2	0	0	0	0
合 計	1,785	952	559	3,296